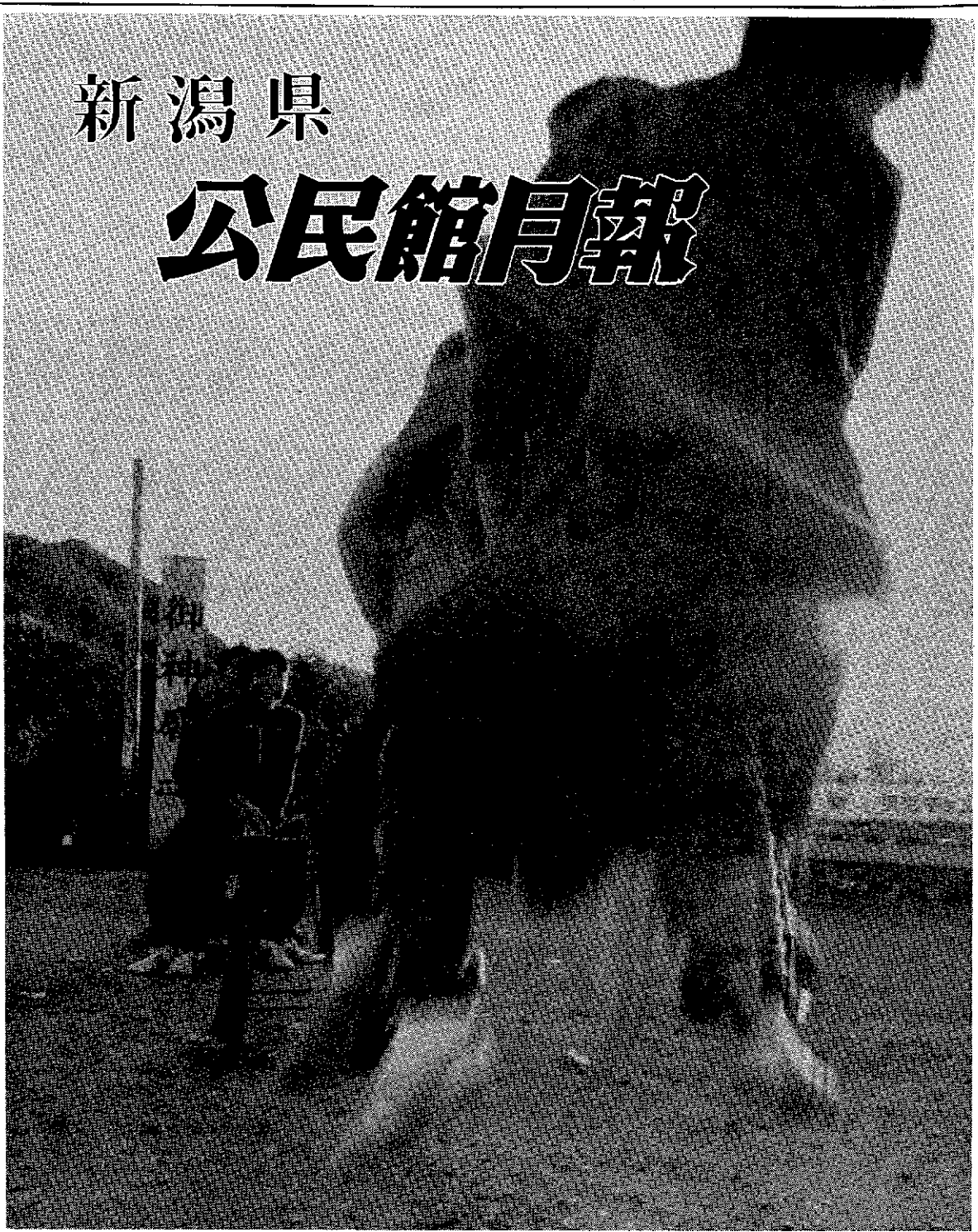


新潟県

公民館月報



昭和50年6月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番堀通町・興教育庁社会教育課分室内】

【電話・(新潟)028)61111内線326】 【振替新潟4094】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部50円・年600円】

シーソー

急激に跳ね上るときと
 一挙に下降するときの
 交錯する一瞬の予測と現実との
 落差がスリルの正体だ

相手側の反応を確かめながら
 敏速に自身の対応をはかると
 シーソーは支点を分けてあるが
 ままにうごく

からだごと感じる振動とシヨックの愉快

オイ

大きな口をあけて笑ってばかり
 いると舌を噛むよ

(本)

(写真は弥彦山頂上にて本紙)

実践記録シリーズ

③

四月号からはじまった「実践記録シリーズ」本号のトップは中頸三和村の公民館建設にいたるまでのあらまし。

公民館建設への道程

特筆したい運審委の活躍

三和村公民館長 江口俊治

一、公民館建設の機運

私が就任したのは今から五年前ではないが実情である。このためである。それ以前からすでに進め三和村では、啓蒙をかね、まわられていた三和村公民館建設の議村民の意識調査をした。(昭和四十六年七月、「新しい豊かな村づくり」アンケート調査)

この結果村民の社会教育に対する要求や障害の実態をつかむことができた。その中で、村民の70%近くが早速に公民館の建設を望んでいることがわかった。こえて同年九月の三和村長期総合計画で、指導的な村民代表の員識により公民館の建設が策定され、建設への保証が確保されたのである。

二、先進地視察

公民館建設運動の核は運営審議もこれに歩調をそろえるようになる。このため先進地視察も、四十九年には村議会として公この視察を中心に、近隣、県内、民館建設のための視察がなされ、そして県外へも実施してきた。建設はもはや時間の問題となつた。一方、社会教育委員、教育委員だ。

その中で、建設年度、面積、建築内容等がまとめられたが、特に重要な点は、

三、建設の基本的態度

先進地視察等によって得たものの館建設促進部会」で検討し基本的な、運営の中で構成された「公民館態度を協議した。

◎公民館は社会教育の拠点として、利用しやすく機能的にもすぐれた施設でなければならぬ。したがって総合センター方式をほぼ老人いこの家等の併設は好ましくない。

この基本的態度を社会教育委員、教育委員会と協議され、四十八年十一月村理事者へ「公民館建設に対する要望書」として提出した。

*一冊の通帳でいろいろなサービスがご利用できます。

ホクシン 総合口座

《自動入金》

- 給与振込
ボーナス振込
年金振込
配当金振込



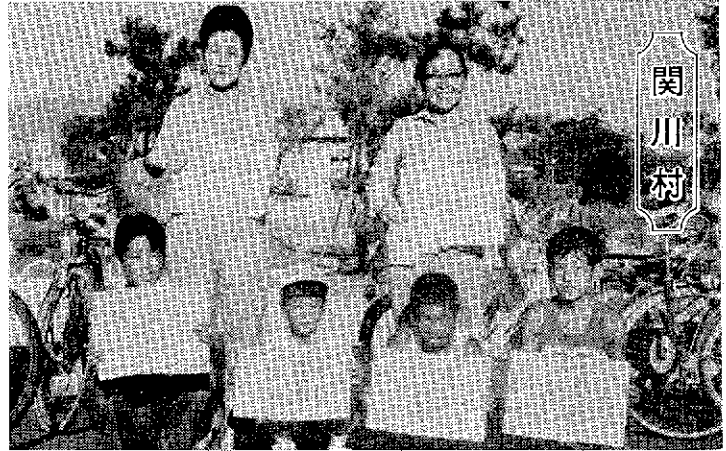
《自動支払い》

- 公共料金
保育料・授業料
お買い物代金
返済金
税金



100万人の銀行
北越銀行

月	社会体育行事
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育指導員研修 ○ ママさんバレーボール巡回指導 ○ 壮年ソフトボール大会 ○ 体力づくり教室 ○ バトミントン教室 ○ フォークダンス講習会
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親子ハイキング ○ 第10回県民スポーツ大会予選 ○ スポーツ教室 ○ 早起きサッカー ○ 早起きサイクリング ○ 婦人バレーボール教室
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村民スポーツテスト ○ 第10回県民スポーツ大会 ○ 第8回公民館長杯争奪早起き野球大会 ○ フォークダンス講習会 ○ 早朝バレーボール教室 ○ 歩け歩け運動 ○ 婦人バレーボール教室
7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村民サイクリング ○ 村民水泳教室 ○ 村民登山
8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村長杯争奪野球大会 ○ 水泳教室 ○ スポーツ教室 ○ 少年野球大会 ○ 体力づくり教室 ○ 少年ミニバスケットボール大会 ○ 青少年リーダー育成 (キャンプ)
9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村民駅伝大会 ○ 体育指導員研修
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回村長杯争奪バレーボール大会 ○ 歩け歩け運動 ○ 第6回近・高橋杯争奪野球大会 ○ フォークダンス講習会 ○ 体力づくり教室 ○ 村民サイクリング
11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4回議長杯婦人バレーボール大会 ○ 男子壮年バレーボール大会 ○ バトミントン教室 (各地区巡回) ○ 親子ドッチボール大会
12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若返り教室 (各地区巡回) ○ フォークダンス講習会 ○ 少年卓球大会 ○ 体力づくり教室 (各地区巡回) ○ 婦人バレーボール教室
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村民卓球大会 ○ 村民寒げい古 ○ 若返り教室 (各地区巡回) ○ バトミントン教室 (各地区巡回)
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村民スキー教室 ○ 村民スキー大会 ○ 体力づくり教室 (各地区巡回)
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育指導員研修 ○ フォークダンス講習会 ○ バトミントン教室 ○ 体力づくり教室 (各地区巡回)



関川村

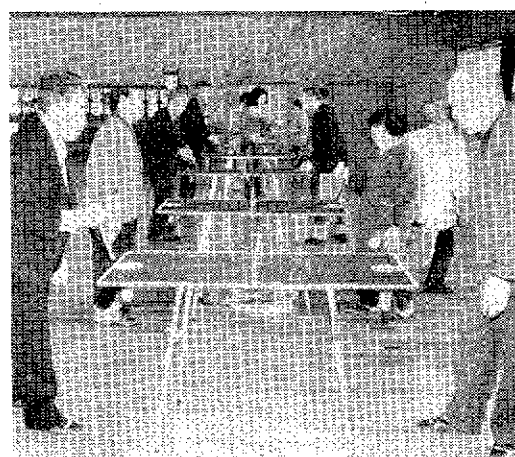
【毎日曜日お早ようサイクリングの皆勤者】

復旧への体力づくり

人気高まるサイクリング

この数年秋の村では、村施をひろげるとも老若男女誰で、政方針の中に体力づくりをとりあも参加できる社会体育行事を重点にしている。これは昭和四十二年羽とすることにした。企画実施の主五万四千円である。

越豪雨といわれた大水害で村は壊滅的な被害をうけ、この再起のため復旧作業に精魂をかたむけ全村民体育指導委員の合議で細部を立案しているのは、村民ハイキング、村民あけて労働過重となり疲労が重なり憂うべき状態となった。もちろん実施事業を掲載することもある。サイクリング、中でも「お早よう」初めのうちは気力で頑張っている、各種目とも前回は実施の際の参で三月月間毎日曜日の朝六時からだが、徐々に限界をこえる心配がある。加者には全員に案内状を発送する。七時までの一時閉村のコースをり、休養をとることを進めたりはなご体育行事の周知につとめてきた。巡るもので、七十歳の老人から小したが何といつても根本から住民た。予算では体力づくり国民運動学生まで参加者が回を追って多くの体力づくりをすることが必要で、推進地区事業補助金、一六万五千円、学校開放補助金一〇万円を、施し八月最終日曜日は皆勤者がふつを盛んにスポーツ人口の底辺含む保健体育総務費、二二二万えること思っている。



【寿大学ピンポン大会】

この外村民体感をあつめる機会健康保険増進のために続けて行なに普及しつづけてもこの大集会たいと考えている。

でも一人でも体操を奨励しように普及に努めている。まだまだ地についたとはいわれないが住民の

(伊藤茂治、関川村公民館長発)

私と公民館

維新史講座で開眼

いまでは会員同志が講師

新潟市中央公民館

明治維新史研究会々員 尾形 ゆき江

去程の暗闇の月、中央公民館 部分の人たちが休講せずに仕事がていた。その真摯な学意に感服して、常に大義のために生きつづけた。西郷隆盛、高杉晋作、木戸孝允等の生き方は池田政業先生の講義を通じて私たちに感動を与えておられたのである。

維新史」の講座が開かれた。私は高校時代、歴史の時間は年表と歴史上の人物を覚えるのさへ苦手であったし、幕士攘夷、勤王志士等という意味をええと理解できないまま学校生活を終えてしまった。しかし、社会へ出て、世の荒波にもまれ、難しい対人関係にまきこまれ、人生とは、生きる意味とは、という問題を自己の生と直結して考えるようになった。歴史上の人物がどのように生きてか、というのにはたいへん興味ある問題になった。そういう時期に、私は池田政業先生(新潟市郷土資料館)の情熱的なおもしろい講義を聞くことができた。短い期間(二月一日と二月八日)毎週金曜、夜六時十八時であったけれど、受講者の大



【昨年10月関川村を尋ねた会員】

機という重大時期に自我を滅却し、ついで理知的である。とても勉強家で博識家でいらつしやる会長(杉浦清資さん)にリードされて会員同志和氣順々としていっただけで、私たちが感動せずにはいられないのである。その後、この講座に集まった人々、千人位で明治維新史研究会が作られた。世氏は千代か六代まで。会員も公務員、設計士、米屋さん、クリーニング屋さん、会社員とバラエティに富んでおり男性と女性会員が半

私と公民館

オバケ大会も企画

上越市公民館高南青年学級 伊藤 和 義

高南青年学級、それは若さあふたれ、活気に満ちた地域青年学級である。さてその組織と内容はどうか。旧高田から来た八キロほど入った旧高土津地区の兼業農家が主な地域であり、学級生の職業は、団体職員、市職、金融関係が主で現在四十五名、平均年齢が二十前後の美青年男女である。

組織は学級長一名、副学級長が男女各一名、第一、第二企画各三名、編集五名、書記、会計各名

私がいま痛切に思っているのは、県

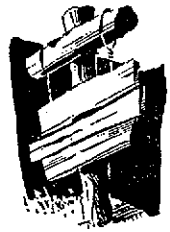
外研修等に出ると、その公民館の指導、施設、設備がまさに、気が

合っている。その他に「月」に一回の学級には会員同志が講師になり「農民一揆」「武士」について「蘭園について」「ギリシヤ流教室について」等勉強し

申込先 県公民館事務局

内容・教育基本法	公民館関係
・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営設置基準	別公民館関係の諸会議に使用した
・通達「公民館基準の取り扱いについて」	を。
	申込先
	県公民館事務局

あの頃のこと



熊木三郎

ドライブ日記から ③

四十年十月、長岡から、せまい部路の中を走り、當地峠の難路を粗踏。米山峠もうわさ以上の曲折した危険道路であった。道路標識も不十分の時代、直江津では駅へ突っこんでしまった。駅前食堂で中食。快晴の秋。だが未舗装の多き道路の砂塵は凄しい。関川をわたり野原側で小休止をとる。釜鳴屋の婆さんの「もろそば」の味は今でも忘れられない。(今は一代目大きな土産物店の隣になり知る人ぞ知る存心。お札かき出、長野間は村々の軒端を通ったようなおぼろびの記憶しかない。善光寺詣は明日にして戸倉、上山間へ。バイクに乗った客引きに口説きおとされ、宿泊料も交渉成立、片山荘でエンジンストップ。当時の戸倉、上山田温泉は暴利、暴力的なバーや飲食店が多く、悪名は全国的に有名になり全く閑散のものだった。回復策として有志で「杉の子会」を組織し、野求領に不審があったら旅旅松として「ソナ」でよういってなつていってと番頭さんのあひざりであった。その番頭

さんる案内役に全員夜の探訪に出た。ななはも踊りに入る。近所の者がこのとき以来、二百酔をしにきり屋の女性一人も飛び入り参りたり、非紳士的行為と認められた。加だ、やがて全員で亀田屋敷で大会員は退会すること。が全員一はしゃぎの中に舞が下りる。備途致で心算書の追加事項となった。八百屋でもとめたベナナを祭から見ているを旅座のお客に投げ込みだ。明日の善光寺詣も快晴ら。M氏K氏はさすがにうまい。全員ケロツとして顔を描えたのだ。

優秀16ミリ映画無料貸出し

お問い合わせは毎日新聞社事業部へ

〒100 東京都千代田区一ツ橋 TEL03 (213) 2696

文部省特選 富士 カラー 75分 ① 富士銀行	第13回芸術祭賞・東京都第2回教育映画コンクール金賞・ベニス国際映画祭撮影技術賞などを受賞した優秀作品を富士の四季を楽しく紹介
明日をめざして 「躍進する倉庫業」 カラー 30分 ① 社団法人日本倉庫協会	倉庫の発生、成長等を歴史的に興味深く解明し、更に社会的使命に励む、最近の営業倉庫の姿を多角的にとらえた、本邦最初の作品である。
仏陀の生涯 カラー 15分 ① インド政府観光局	偉大な思想家仏陀の生涯を現存する仏跡を通じて紹介したもの。二カ月にわたるインドロケによりインドの観光地がふんだんに紹介される。
第8回日本産業映画奨励賞 海陸をつらぬく 「K」LINEコンテナ カラー 28分 ② 川崎汽船株式会社	コンテナは輸送の革命児。その合理化の極限を追求する。既に日本のコンテナは海、陸、空を結び米大陸で縦横に活躍している。
かけがえない海 —油汚染と漁業— カラー 30分 ② 水産庁 全国漁業同組合連合会	日本は世界一の水産国である。しかしその海は石油の使用量に比例して油による海の汚染が増えている。油濁から漁場と自然を守ることを訴える
文部省選定 観光映画コンクール 日本のゆり カラー 28分 ② 協和銀行	世界でも最も美しい、日本のゆりの種類と自生地を紹介しながら、古代から現代に至るゆりと日本人の結びつきを描く、ゆりの文化史。
警察庁監修 はじめてのバイク —安全運転シリーズ— カラー 20分 ② ホンダ安全普及本部	初めてバイクに乗る方へ安全運転のために正しい理解と正しい扱い方を指導する映画。関係各官庁より内容について高く評価された映画です。

その他多数

新潟県社会教育講師紹介資料

講師の
プロフィール
内容・B5版・32頁
◎項目「顔写真・氏名・現職・住所・電話番号・生年月日・最終学歴・社会教育関係の経歴・現在の活動(著書等を含む)・専門領域」
◎実費 一部 二五〇円送料共(なるべく郵便定額小為替で願います)
◎申込先 新潟市一番通運第 分館 新潟県社会教育協会



事務局へどうぞ

公民館の皆さん、社会教育協会会員の皆さん、いつでもお立ち寄りください。事務局は県庁第二分館地階西側の「ゆり」の右側の二室です。(写真はるるの日の事務局・本間事務局撮影)

あとがき



はじめて本会事務局を尋ねてくださった方は、一様につくられたような目をなさいます。県庁第三分館の中とはいえ、地階の「ゆり」の奥のせまい事務局は、まるでギリラの楽園のようでもあり、地下壕の指令室でもあつかうでしょう。

しかし、こんなはずの事務局でも、市町村の公民館長さんとはまた、各界のいすれ方も人々士が集まることとして名を付けています。

この間、前新潟日報論説委員長の成沢猛氏が「ゆり」に現れました。「県公連がこんなところに押し込められているとは知らなかった。いまさらながら公民館も社会教育の現実について考えさせられることがある」と申されました。

巨大な組織機構の論理は、県公連のときは「動員中の虫」か体内の盲腸のような存在と想っているのではないかと考えさせられるかもしれないではないのですが、私たちが、そんなことはいち向きにせよ黙々と歩みを進めることを考えています。(本)